

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 29 日作成)

小委員会名	地球環境構造小委員会	主 査 名：大谷恭弘 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：外岡 豊 主 査 名：
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>【目的】建築の材料，施工，構造の立場から，環境負荷削減のために取り組むべき課題と数値目標を明らかにし，2050 年のカーボンニュートラル社会の実現に向けた構造分野のロードマップを作成する。</p> <p>【活動計画】</p> <p><2013 年度>2050 年のカーボンニュートラル社会の実現のためのロードマップを作成するための小委員会としてのビジョンを検討する。</p> <p><2014 年度>カーボンニュートラル社会へ向けたロードマップ案に関して，2014 年度建築学会大会にて PD を開催し，討議の内容を踏まえ成果をまとめる。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：大谷恭弘（神戸大学） 幹事：兼光知己（清水建設） 委員：稲田達夫（福岡大学），軽部正彦（森林総合研究所），田村和夫（千葉工業大学），西村功（東京都市大学），平川倫夫（三菱地所設計），藤田正則（山口大学），坂本成弘（大成建設），三澤温（Arup Japan），北條稔郎（北條建築構造研究所），柳橋邦夫（竹中工務店）	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>【高耐震都市研究WG】 主査：藤田正則（山口大学） 地震災害に対する都市の脆弱性の問題などを地震工学あるいは耐震工学・材料工学の立場から検討を行い，解決のためのシナリオを見出す。</p> <p>【地球環境時代における木材活用 WG】 主査：稲田達夫（福岡大学） カーボンニュートラルな木材の活用促進を図るための現状課題の抽出とその解決策を，国内需給や国際的な資源循環を踏まえて提案する。</p>	
2013 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	6 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 地域・都市の観点から環境負荷削減のための建物マネジメントを検討し，そ の中での構造技術の役割から，小委員会としてのビジョン案を示した。 2. ロードマップの重点管理項目として，気候変動を抑制するための構造的対応 策と気候変動が進行した場合の構造的対応策を掲げ，課題を検討した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 2014 年度は建築学会大会 PD を取りやめ，別途，シンポジウムを開催する。